



HEIDEE WINERY

株式会社 ハイディワイナリー

代表取締役社長 高作正樹

自社紹介

ハイディワイナリーとは？

ブドウ栽培

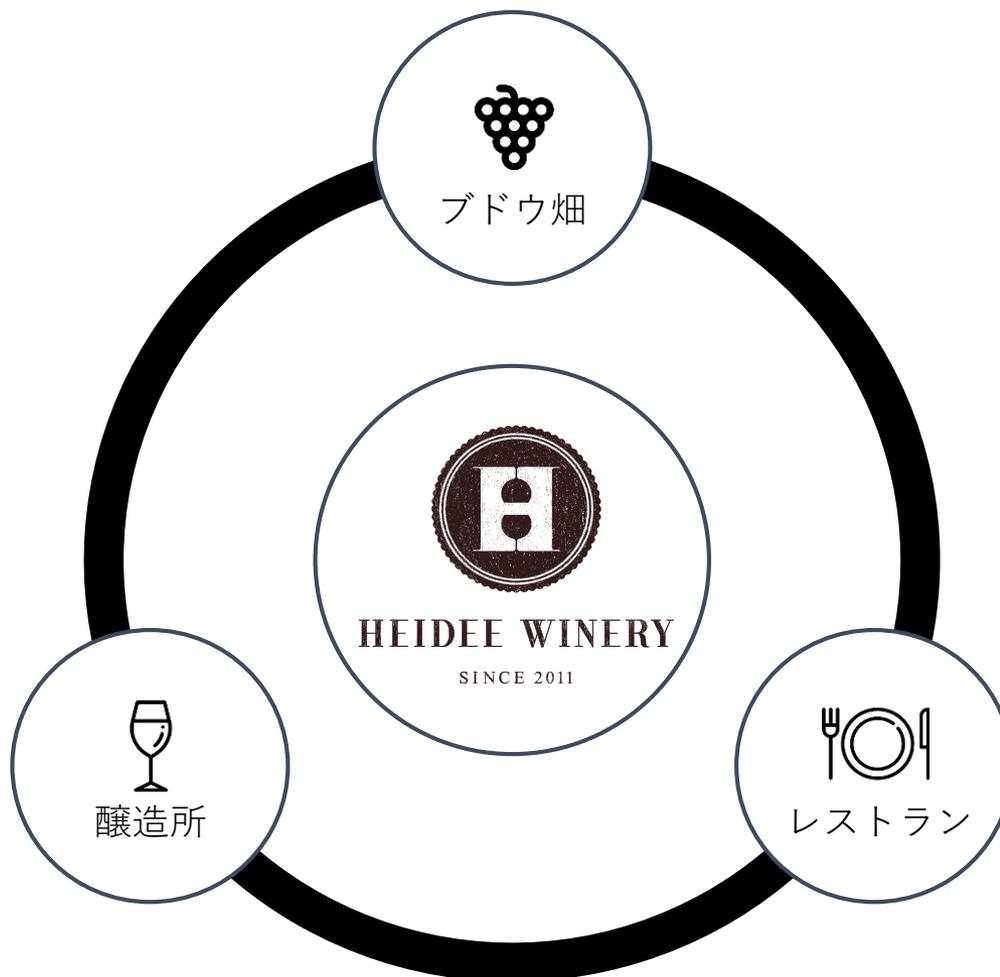
×

ワイン醸造

×

ワイン販売

6次産業



会社概要

社名：株式会社ハイディワイナリー

業種：6次産業(ブドウ畑・ワイン醸造所・レストラン)

株主：18名 社債所有者：20名 (←初期1名)

株式数：26,600株 (←初期1,000株)

資本金：5,150万円 (←初期1,000万円)

役員数：3名

従業員数：正社員11名

本日の演題

**地域における
ワインづくりの現状と課題**

目次

ワインづくりの現状

- 01 | 日本ワイン人気の高まり
- 02 | 新設ワイナリーの増加
- 03 | 行政主導「日本ワイン」のブランド化
- 04 | 大手ワイナリーによる自社畑拡大と原料不足問題

ワインづくりの課題

- 05 | 安価な輸入ワイン vs 日本ワイン
- 06 | 日本ワイン市場での差別化

課題へのアプローチ

- 07 | 異業種とのコラボレーション
- 08 | コミュニティビジネスの強化
- 09 | 「訪れたくなる」ワイナリー空間の創造

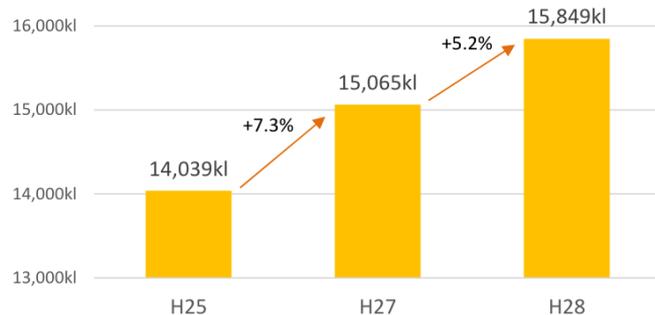
ワインづくりの現状

01 | 日本ワイン人気の高まり

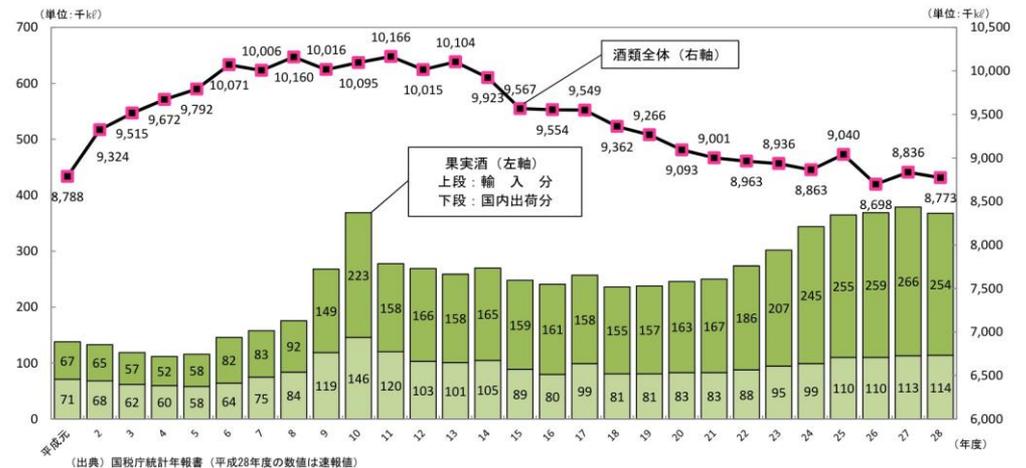
◎国内における酒類全体の消費量が減少傾向の中、ワイン消費量は**増加傾向**

◎とりわけ日本ワインの消費量は**飛躍的に増加**

○ 日本ワインの出荷量の推移



(注) 果実酒製造業者実態調査による課税移出数量である。



(出典) 国税庁統計年報書 (平成28年度の数値は速報値)

02 | 新設ワイナリーの増加

◎日本ワイン消費量増加や「ワイン特区」などの導入により
過去5年間で50件の新設ワイナリーが誕生



03 | 行政主導「日本ワイン」のブランド化

©2018年10月以前：海外産のブドウ + 国内醸造 = 「国産ワイン」表示OK

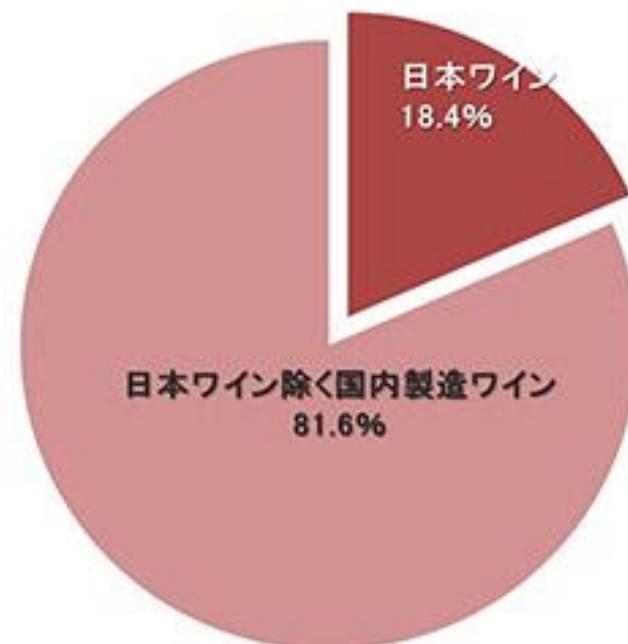
国内で造られるワインの
約**82%**が外国産ブドウ使用

約**18%**が日本産ブドウ使用

「国産ワイン」なのに外国産ブドウ？

「日本ワイン」ってなに？

2015年国内製造ワイン製造数量構成比
(2016年国税庁調べ)



03 | 行政主導「日本ワイン」のブランド化

◎ 2018年10月：新「ワイン法」誕生

諸外国のワイン法と比較すると時代遅れの日本ワイン業界に対し終止符
日本ワインのブランド化を目指し、国際水準にあわせた新基準を設置



Q. 日本ワインとは？

国産ブドウのみを原料とし

日本国内で製造された果実酒

◎日本ワインに限り、産地名、ブドウ品種、収穫年が表示可能

◎産地表示する場合は、その地域で収穫したブドウを85%以上使用すること

04 | 市場における苗木不足 / ブドウ不足

◎大手ワイナリーや新規ワイナリーによる自社ブドウ畑拡大 → **苗木需要増**

全国の数少ない苗木農家に注文殺到 → **供給率3割/苗木不足**

◎苗木調達後、収穫できるまで最低5年 → **買いブドウ需要増**

苗木調達できない場合 → **買いブドウ需要増**

ワイン用ブドウ農家の高齢化・人手不足 → **深刻なブドウ不足**



ワインづくりの課題

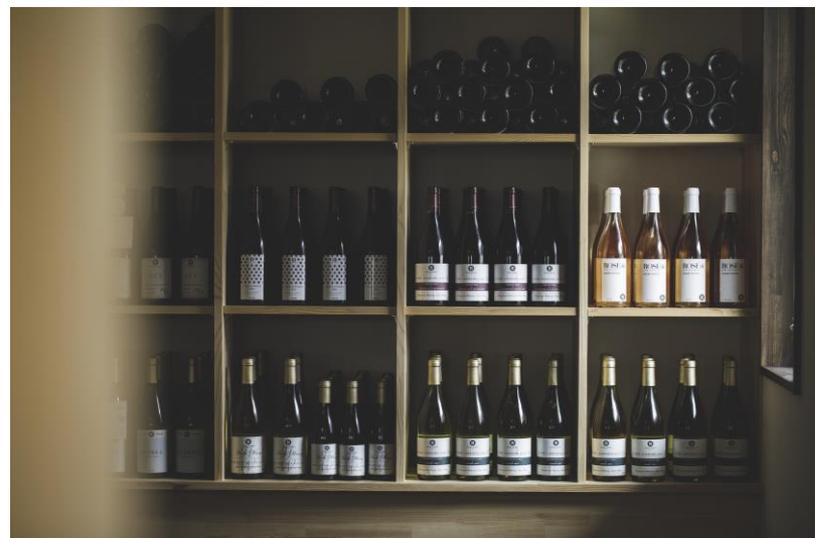
05 | 安価な輸入ワイン vs 日本ワイン

◎近年、低価格ワインの競争は激化

より安価なアルコール飲料へ需要シフト(チューハイなど)

◎購買層が異なる日本ワインへの影響は少ない

土地の個性によって異なるワインの味わいが消費者を魅了



Q. 今後の課題とは？

日本ワイン市場での差別化

06 | 日本ワイン市場での差別化

◎日本国内のワイナリー数：**283場** (2017年3月時点・国税庁データ)

圧倒的出荷量を誇る
大手ワイナリー

山梨や北海道、長野など
銘醸地で活躍する
小規模ワイナリー

成熟していく市場
差別化が必要

(都道府県別のワイナリー数)

順位	都道府県	ワイナリー数	順位	都道府県	ワイナリー数
1	山梨	81	24	兵庫	2
2	北海道	34	24	宮城	2
2	長野	34	24	富山	2
4	山形	14	24	石川	2
5	新潟	10	24	滋賀	2
6	大阪	7	24	京都	2
6	栃木	7	24	鳥取	2
8	岩手	6	24	熊本	2
8	岡山	6	24	神奈川	2
10	福島	5	34	福岡	1
10	広島	5	34	福井	1
10	大分	5	34	三重	1
13	秋田	4	34	和歌山	1
13	群馬	4	34	山口	1
13	埼玉	4	34	香川	1
13	宮崎	4	34	愛媛	1
13	千葉	4	34	高知	1
18	愛知	3	34	長崎	1
18	静岡	3	34	鹿児島	1
18	島根	3	34	沖縄	1
18	青森	3	45	奈良	0
18	茨城	3	45	徳島	0
18	岐阜	3	45	佐賀	0
24	東京	2	全国計		283

(注) 果実酒製造業者実態調査による。詳細は参考2を参照。

私たちが考える
課題へのアプローチ

07 | 異業種とのコラボレーション

◎ 近年、異業種からのプライベートブランドワイン需要増

相承ワイン

曹洞宗大本山總持寺様



金箔ワイン

箔座株式会社様



燦々里ワイン

EPMグループ様



08 | コミュニティビジネスの強化

◎持続的な収益につなげるための「プレミアムワインクラブ」

ワイナリーと会員のコミュニケーションツール

会員の熱量を高め、イベント等を通して交流することで「ファン化」を目指す

より一層魅力的な
コンテンツが必須

1口 **20,000円** 税込

ワイン 6本



醸造家セレクト 6本シリーズ 

ハイディの醸造家がセレクトした6本を、2017年5月頃にお届けいたします！
自社畑ブドウ使用の希少ワイン、バックヴィンテージの非売品ワイン、2016ヴィンテージの
新リリースワインといったスペシャルな内容となっております。品種はお任せください。

送料無料



通常 700円 → 送料無料 

通常 700円のところを、弊社が送料を負担させていただきます！（頒布時1回限り）

10%
OFF

ワイン & ワインジャム、10%OFF 

販売している全てのワインやワインジャムを10%OFFでご購入いただけます！
セレクトワイン6本以外に気になるワインがございましたら、一緒に注文すると送料無料で
なりお得です。

イベント



イベントへの優先参加 

ハイディワイナリーが主催する各種イベントへ、優先的に参加いただけます！
イベント情報はSNSやホームページ、ワイナリー通信にてお知らせいたします。
ぜひご参加頂ければと思います。

09 | 「訪れたいくなる」ワイナリー空間の創造

◎ 「わざわざ行きたい」と思える**体験型コンテンツ**

ex.) 窓一面に広がる海と里山の絶景 + レストラン空間

ここでしか味わえないワイン + 能登産食材のコース料理

海を見渡すブドウ畑 + 醸造家の見学ツアー + ワイン試飲













09 | 「訪れたくなる」ワイナリー空間の創造

◎参考例

スイス = スイス産ワイン国内消費99%、**地産地消型**のワイン造り。

イタリア = トスカーナのアグリツーリズム。ワイナリーツアーのほか

郷土料理教室やオリーブ収穫など**体験型コンテンツ**が多い。

ワイナリーを中心とした

魅力的な空間づくり



ご静聴ありがとうございました

株式会社 ハイディワイナリー

代表取締役社長 高作正樹